



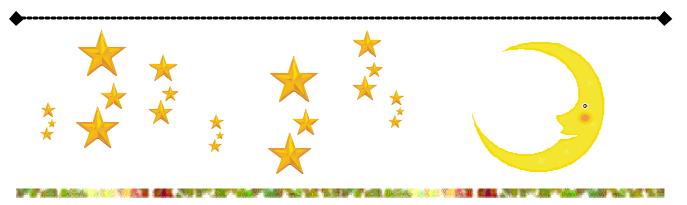
横山晃久 は A N D S 世田谷ケアズ世田谷 理事長

HANDSを作った時30代の筆ばで、私の住んでいるところが 代田だったので、事務所のある中町まで歩いて 1時間半かけて週 五日、よく道いました。 复は暑くて私の車椅子を押している 介助者がダウンして教急車で病院まで運ばれて私だけ事務所に

行ったこともよくありました。私が全国に講演会に出かけ養崎から一人群馬から一人、 世田谷に引っ張ってきました。

今私の悩みは自立支援法後の障害者の地域生活なのです。私たちの頃のこだわりとかやり方は今では通用しないことです。地元を見れば、親はあの時と比べて理解はあると憩いますが、本人のやる気が無いように見えてきています。周りに対しての依存度が多くなって本人が何をしたいのか、どういう生活にしていきたいのかが、時間をかけてもはっきり見えてこないのがこの頃の現状なのです。私は、今までに26人の障害者の仲間を施設から出してきました。そして25人の仲間を在宅から一人暮らしをサポートしてきました。

これからも時間をかけてあせらずにサポートをしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。





「HANDS世田谷20周年おめでとうございます」

いつの間にか20年というか、もう20年経ったかと振り返る今日こ の頃です。

私が関わらせてもらったのは、創立当初からでした。 そうりつ め か ば - の ことは、本当によく知っている仲間達でした。

9年前に亡くなった、初代理事長の山口成子さんから直々に、「一緒に作っていきたい」と言葉をもらって、利用者会の責任者をやらせてもらったり、HANDSの理事から今はケアズ世田谷の理事を務めさせてもらっています。

世田谷に来て草や今年で 32年になりますが、色んな活動を遠して、私の人生そのものを変えさせられました。

それは決して悪い意味で言っているのではなく、いくら重度の障害があっても、自分の 人生は自分で切り開くという、人間として当たり前の事を、実感を通して学ばせてもらいました。

世田谷という地域は、30数年前から 24時間介助者を入れた生活をし始めた方達がいるのを自の前にして、当時療護施設に入るしかないと思っていた私自身の衝撃は、あまりにも大きいものでした。

その後見よう見まねで、筒じような生活を始めて、HANDS世田谷を運営していく中でも、私と筒じような経験をしてほしいという気持ちを込めてきたつもりでした。

これからも、私が生きていくでしょう。

*
うちが 住む社会を自らが 作ってこそが自らの地域



松沢等 HANDS世面谷・ケアズ世面谷 第性コーディネーター



HANDS世田谷に出会えたことに、感謝、感謝、感謝、感謝。



三浦克敏 HANDS世田谷・ケアズ世田谷 経理担当



「HANDS世田谷と私」

私とHANDS世田谷との関係は今年で19年になります。今年38 歳なので、ちょうど私の生きてきた半分です。介助会員から始まり、 上田要さんたちの個人介助に移ったときは一時関係が薄くなりま

したが、敬聞口成子さんの轉従介助を経て、会計担当の事務局員となり、そこから 13年がたちました。私的には結婚して親になるなどのイベントもありました。親売で暮らした年月よりも長い時間をHaNDS世田谷と過ごしてきたのですが、HaNDS世田谷との関係について、いまだになんと言っていいのかわかりません。ただ素直に、よくここまで続いているなと思うのと同時に、いろんな方のおかげで今の自分があることを深く感謝しています。

それからいろんな芳にお世話になりました。世白さんのふんわりとした桑顔、横山さんのこってりとした桑顔、太田奈津子さんのお茶曽な奚顔、宮前武夫さんのやさしい奚顔、今井志朗さんのひょうきんな奚顔、これらがたまちゃんという愛称をいただいたころの私にとってのHANDS世田谷です。懐かしいですね。



鈴木範夫HANDS世田谷事務局員 流高のポエマー ペニー 鈴木の「続・社会の窓」



パンズ、ハンズ、あぁハンズ よくも続いた 20年 生まれた赤子も もう お・と・な ハンズ、ハンズ、あぁハンズ 制度色々変わってきたが、変わらないのは運動重視 ばんず、ばんず、あぁハンズ

おれらの生活どうすんの? たたかい続けているのです。

ヸ^んず、ヸ^んず、あぁ゚゚゚゚ヹ、あぁ゚゚゚ヹヹ

おいらも色々変わってきたが、変わらないのはエロエロ度

^{はんず、はんず} ハンズ、ハンズ、あぁハンズ

おいらの個性どうすんの? いいです いいです いいんです。 そのまま まんまでいんです 確認できたよ あぁ ハンズ

よくも続いた20年 生きる保障が出来るまで 笑顔で解散出来るまで たたかいつづくよ

ʊ- ネサ p.sでも、やっぱり詩は嫌いです...。



中野伸哉 HANDS世面谷・ケアズ世面谷 男性コーディネーター



大学生の時にYMCAで知的障害の方のボランティアをしている時にHANDS世田谷立ち上げメンバーの故・山口成子さんの個人介助者と知り合い、HANDSを紹介して頂きました。それからHANDS20周年の半分の 10年を共に過ごす事が出来ました。

人見知りで、最初はなかなか話す事が出来ず「怖い・・」という印象を持たれている芳 もいたそうですが(中・高男子校の寮生活だった事が影響してるかもしれません・・・・(党)) そんな中で出会いや別れを繰り返しながら、多くの利用会員・介助会員の皆様に出会えた事 は人と関わる仕事をしたいと思っていた私にとって、とても大きな財産になっています。

現在は私が入社した頃に比べ、社会的にも福祉にスポットがあたる事も多くなってきました。これはこれまでの障害者運動の成果でもありますが、一方で何か問題が起きてから取り上げられるケースも多いように感じます。後悔の「たら・れば」は言うべきではないと思

いますが、こと常に関わる福祉に関しては「たら・れば」をまず頭にいれて行動していく べきなのではないのかなと音々思っています。

生活保障や介護保障等の様々な社会的保障は誰にでも共通することですので、今後とも社会への働きかけを自立生活センダーに関わる一人として行なっていきたいと思います。



南雲君江 HANDS世田谷事務局員



「HANDS世間谷と私」

HANDS世田谷創立20周年おめでとうございます。

私は、2004年からHAND・サービー・ (活動しています。あれからもう6年が過ぎようとしていますが、いつもここにきてから何年をつだろうかと、年数が分からなくなってしまいます。ずいぶん

いような気もするし、あっという間の月日です。

振り返って考えると、HANDS世田谷ができるまえから理事長の横山さんとは、私がこうがはようごがっこう しょうがくぶの 1・2年の頃からの、切れそうで切れない不思議な縁でつながっていました。

HANDS世田谷ができて、私がちょうど結婚した 1995年に 1年間だけ、研修生として、 ・ 動きだから代笛にあった事務所まで週に 1・2回、道っていました。その詩は、まだ一人で外出 していて、帰宅してから夕食の準備や後片付けなどやっていたことを懐かしく思い出しま す。今は、音常的に介助を必要とし、あの頃は首分でもよくやっていたなと思えるほど、遠 い出来事のように思います。

私は、光明養護学校の卒業後、重度の授産施設で 12年間過ごし、その後に一人暮らしをたな、結婚しました。自立生活センターでの活動には、以前から関心がありましたが、かなり遠回りをしてHANDS世田谷に辿りつきました。

HANDS世田谷へ強い始めのころは、自分が何をしたらいいのかわからなかったり、 が助者との距離のもち芳に述ったり、ずいぶん辛かった時もありました。

HANDSの活動の中で自分のやりたいことを見つけるまで、始めは今まで自分が関ってきた、他の自立生活センターとの違いに悩み躊躇しました。

しかし、自分がやりたいことをやって良いというHandsのやり芳に、とても魅力を懲じ、 そのことが私にとっては、大きな心の支えになっています。

HANDS世田谷の中で障害女性としての、活動を続けていくこと、たくさんの人たちとつながっていくことが、今の私にできることだと信じてします。



世界 山形重人 HANDS世田谷事務局員



小学2年生・8歳のときのことでした。私が所属していた、大阪府・堺
しつったらがかしようかった。
市立向丘小学校は、創立20周年を迎えたのです。校章の、桜の花の形
に運動場に児童が並んで、航空写真を撮ったものが記念の下敷きに
なり、学校の歴史が年表と写真で著された分厚い"記念誌"ももらいました。自分自身が「8歳」でしたので、創立20周年ということが、

とにかく『すごいことやな!』と思い、思わされたことをよく覚えています。党も強っていたし、どこにあるかも入学前から知っていました。いつの時代も小学校は、当たり前にある 発祥ですよね。

HANDS世面谷も、創立20周年。人生でいちど、20周年を経験している私の視点で言うと、これは『すごいこと』に"もっと"がつく大きなこと。当たり前にない存在が、たくさんの人たちの"HANDS"が途絶えることなく続き、新たな価値観を生み出しているのだから。今でこそ、自立生活センターには基準要件がありますが、それは、ゼロからまさに「手探り」で生み出されたHANDS

HANDSの活動趣旨にご賛同くださる賛助会員・別南会員・介助会員の谐さんの手、活動にご尽力されながらも、お亡くなりになられた芳々の手、HANDSの活動を経験して、新たなライブウークを見つけた人たちの手、一生の出会いを手に入れた人たちの手…その中に、自分の、障害のある右手と障害のない左手も入っている。20年間、かざされ続けてきたたくさんの手から伝わる態いをしっかり受けとめ、進んでいこうと思います。

向丘小学校の2年1組にいた時、社会の授業で「はたらくおじさん」という審組を覚ました。 テルゼには小田急線と「向ヶ丘遊園駅」の様子が映り、みんなで叫んで笑ったものです。 鉄道ではたらく人はカッコイイと思っていた子供も大人になり、自分で決めた活動・仕事を 一日終えた充実感と一緒に、向ヶ丘遊園ゆきの電車を降りている自分がちょっとフシギ。 人生、わからないもんですね。



まりえようご 森江葉子 は ん が ず せたがやり むきくい HANDS世田谷事務局員

「HANDSと私。」

HANDS世哲谷も二十歳ですか~。

松がHANDSと関わったのもなんと、二

